

# SCHEDULE

東京都写真美術館展覧会スケジュール

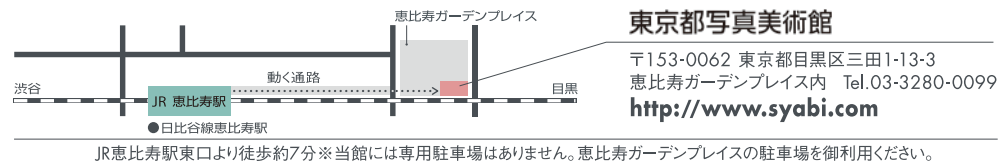
2012	3階展示室	2階展示室	地下1階展示室	1階ホール
12				 © Photo by Hidemi Seto 『魅惑のパレエ映画祭』 12月8日(土)～12月28日(金)
2013				
1	北井一夫 いつか見た風景 11月24日(土)～1月27日(日)	日本の新進作家 vol.11 この世界とわたしのどこか 12月8日(土)～1月27日(日)	映像をめぐる冒険vol.5 記録は可能か。 12月11日(火)～1月27日(日)	© 2012「父をめぐる旅」製作委員会 『父をめぐる旅 異才の日本 画家・中村正義の生涯』 1月5日(土)～
2	第5回恵比寿映像祭 バブリックニダイアリー 2月8日(金)～2月24日(日)			
3			APAアワード2013 3月2日(土)～3月17日(日)	 『わすれない ふくしま』 3月より上映
4	夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 北海道・東北編 3月5日(火)～5月6日(月・祝)	アーウィン・ブルーメンフェルド 美の秘密 3月5日(火)～5月6日(月・祝)	マリオ・ジャコモッリ 写真展 3月23日(土)～5月12日(日)	
5			JPS展 5月18日(土)～6月2日(日)	
6	『写真のエステティクス』(仮称) 5月11日(土)～7月7日(日)	日本写真の1968(仮称) 5月11日(土)～7月15日(月・祝)	世界報道写真展2013 6月8日(土)～8月4日(日)	
7	『写真のエステティクス』②(仮称) 7月13日(土)～9月16日(月・祝)	米田知子 7月20日(土)～9月23日(月・祝)		※スケジュール・展覧会タイトル 等は予告なく変更される場合 があります。最新の情報は ホームページをご覧ください。

**ご利用案内**

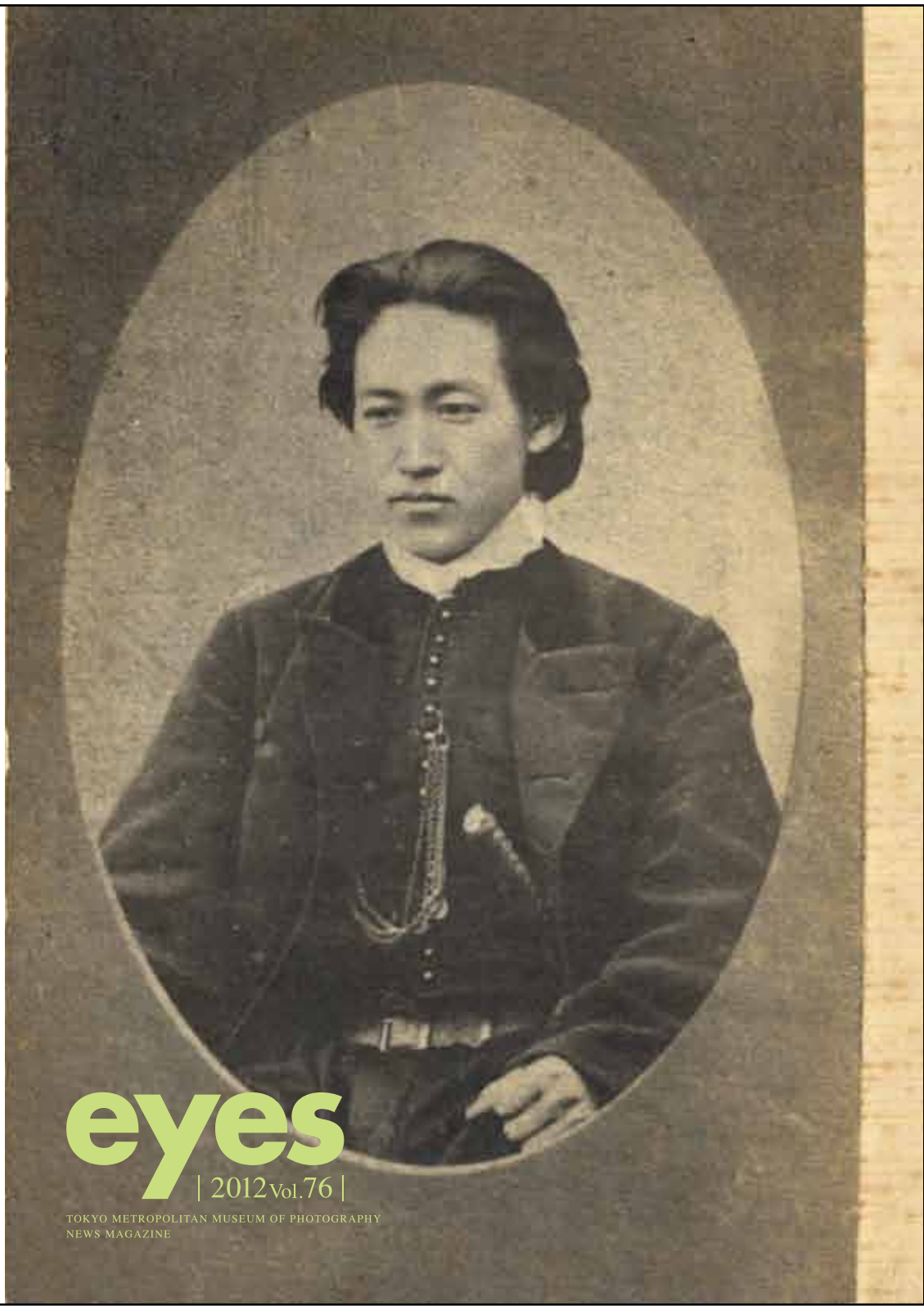
- 休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日の場合、その翌日)、年末年始(12月29日～2013年1月1日)、2013年1月28日～2月7日、2月25日～3月1日
- 開館時間：10:00～18:00(木・金は20:00まで)、12月28日は10:00～18:00、2013年1月2日・3日は11:00～18:00、1月4日は10:00～18:00 入館は閉館の30分前まで

**2013年1月2日・3日は年始特別開館：イベントを多数開催中！詳しくはホームページまで**

**割引チケットの販売** 3展示をすべて鑑賞できる「セット券」、2展示を選べる「チョイス券」を販売しております。詳しくはチケット売り場でおたずねください。



※本誌編集ページに掲載されている観覧料および商品の価格は、原則として消費税込みの価格です。  
東京都写真美術館ニュース「アイズ12」76号 ●発行日：2012年12月10日 / 企画・編集：東京都写真美術館事業企画課 普及係  
●印刷・製本：JTB印刷株式会社 ●発行：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 ©2012 ●本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。



**eyes**  
| 2012 Vol.76 |

TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY  
NEWS MAGAZINE

# 夜明けまえ

知られざる  
日本写真開拓史 北海道・東北編

Dawn in Japanese Photography [Hokkaido district & Tohoku district]

TOPICS

日本各地の美術館、博物館、資料館等の公共機関が所蔵する幕末～明治期の写真・資料を調査し、体系化する初めての試み「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史」。その第四弾として「北海道・東北編」を開催します。

幕末の開国と時を同じくして、日本にもたらされた写真。初期写真は、時代や文化を証言する貴重な資料であり、幕末～明治の人々の息吹が鮮明に息づいています。本展では、北海道・東北の約2,400の施設へアンケート調査を行い、それに基づき学芸員が現地調査を行いました。

ここでは出品作品の一部をご紹介します、北海道・東北に収蔵されている初期写真や関連資料の魅力に迫ります。

14 《磐梯山噴火の図》井上探景  
明治21年 多色刷り木版 磐梯山噴火記念館



## 福島

明治21年に起こった磐梯山の噴火は、多くの写真師、浮世絵師、帰朝画家などによって画面が制作された。上の錦絵や山本芳翠の石版画のほか、岩田善平が制作したコロディオン湿板方式によるネガ原板を調査し、ウィリアム・キンムンド・バルトン、田中美代治らが制作した鶏卵紙の写真も展示する。他方、15 三春町歴史民俗資料館では乾板を使用した早取写真師として名を馳せた江崎礼二による明治8年のアンプロタイプを調査し、16 白河集古苑では棚倉藩最後の藩主である阿部政功を被写体とする丸木利陽や東京印刷局の写真を調査した。17 福島県富岡町教育委員会所蔵である同地開拓風景写真について出品の交渉を行っている。

## 秋田

秋田県では、小坂鉱山に関わる写真や農業発展に尽力した森川源三郎関係の写真を調査した。小川一真は「小坂鉱山」(合名会社藤田組、明治36年)を制作しており、これに関わる多くの写真が6 小坂町立総合博物館「郷土館」に収蔵されている。7 秋田市総務部文書法制課では森川源三郎が九州へ農事奨励のために巡察していた証となる写真が収蔵されている。

## 岩手

岩手県は盛岡藩士・関政民による第十四代藩主・南部利剛の肖像写真(もりおか歴史文化館)をはじめとして、潤沢な初期写真を有している。9 藤沢町には同地出身のグアテマラで開業した屋須弘平関係資料、また、10 斎藤實記念館、11 後藤新平記念館には明治10～20年代の肖像写真が多く収蔵されている。12 一関市博物館では佐賀藩医で万延元年の遣米使節だった川崎道民によるアンプロタイプを管理している。上の写真は、フォービズムの先駆者として名高い萬鉄五郎の青年期に水墨画を指導した菊池素香を捉えた写真である。箱書きから、明治9年に岩手県が誕生する直前、盛岡県時代末期の岩手で制作された作例である。



1 《松前崇廣像》制作者不詳 元治元年  
アンプロタイプ 松前町教育委員会



2 《徳川幕府脱走之士》制作者不詳  
明治2年 鶏卵紙 函館市立中央図書館

## 北海道

北海道では15館の現地調査を行った。全体に地域に密着した資料が多く、特に明治2年から行われた北海道開拓やその後の開墾や建設に関する記録写真を、2 函館市立中央図書館や3 北海道立図書館、4 北海道立文書館などが多く所蔵している。上の2点は、開拓使設置以前に制作された貴重な作例である。2 の写真は、明治政府成立後も佐幕派に協力したフランス軍事顧問団と蝦夷共和国副総裁・松平太郎らを函館で撮したものの。前列中央左のジュール・ブリュネは、映画「ラストサムライ」主人公のモデルとなった人物である。

## 青森

斗南藩記念観光村三沢市先人記念館は、明治5年に開設された開牧社(後の広沢牧場)を基盤としており、広沢任安に関わる写真を多く収蔵している。内田九一、鈴木真一、江崎礼二、丸木利陽といった著名な写真師による肖像写真や、青森県の写真師である「陸奥青森写真師 柴田一奇」の作例も散見される。また、わずか85mm×54mmの画面に40名の肖像写真をカラーージュした《有名高官》など、明治時代に生きた人の肌触りを感じられる作例も見出された。

5 《第十五号バルリンヂニオル号青毛牡馬》  
制作者不詳 明治時代中期 鶏卵紙  
斗南藩記念観光村三沢市先人記念館



## 宮城

仙台文学館には、幼少期を仙台で過ごした冒険小説家・押川春浪関係資料として、明治20年代の写真資料が収蔵されている。永井荷風等との集合写真や、有島武郎著「或る女」の早月葉子のモデルとなった佐々城信子の肖像写真(江木松四郎撮影)もあり、文学者の交流が感じられる。白崎民治は、山形県出身の写真師で、酒田港で開業後、明治21年頃に仙台へ移ったと考えられている。13 は仙台開業直後の作例と考えられる。

13 《押川春浪像》白崎民治 明治21年頃 鶏卵紙  
仙台文学館





田本研造 《(函館パノラマ)明治10年代前半頃 鶏卵紙4枚構成 東京都写真美術館蔵

18 《飛鳥神社矢大臣門崩壊之真景》  
制作者不詳 明治27年 鶏卵紙  
本間美術館



山形県は東北地方で最初の写真館を開業した菊池新学の出身地である。このため、19 山形県立図書館、20 山形県郷土館「文翔館」などには多くの作例が所蔵されている。東北新道開発の記録写真や山形県下の近代建築記録写真は北海道開拓写真と並んで、日本における土木建築記録の先駆的存在である。他方、明治27年に起こった酒田地震(庄内地震)を記録した写真群が本間美術館に収蔵されており、明治期の天災記録写真として重要な作例である。

### 山形

山形県は東北地方で最初の写真館を開業した菊池新学の出身地である。このため、19 山形県立図書館、20 山形県郷土館「文翔館」などには多くの作例が所蔵されている。

21 《<sup>こてだ</sup>籠手田知事令嬢》金井彌一  
明治20年代後半 写真油絵  
新潟県立万代島美術館



### 新潟

新潟県立万代島美術館には、モダニズムの写真家である塚時雄資料として、その父・金井彌一の関係資料が収蔵されている。金井の師である鈴木真一、横山松三郎、江崎礼二ら写真師たちの肖像写真が含まれる点は興味深い。また、着彩された肖像写真が2点含まれており、どちらも油彩によって着彩された写真油絵と考えられる作例であった。他方、22 長岡市立中央図書館文書史料室には、「堀田タミ像」がある。明治二十年代に制作されたアンプロタイプで制作者は不詳だが、株券の仲買人を営む女性の肖像という点で興味深い。また、23 三条市立歴史民俗産業資料館のアンプロタイプ「松尾与十郎肖像」は、内側の装丁が真鍮製である。これはアメリカを中心とするブックハウジングであったことを想像させる。

北海道・東北初期写真調査において、記録あるいは伝達の観点から制作された写真が大変多かったことが印象的であった。これらは「報道写真」の双芽ともいえるべき作例であろう。被写体は大別すれば「近代化」と「天災」である。前者は北海道開拓や東北新道などであり、後者は磐梯山噴火や庄内地震などであると言える。本展では、後者の部分を掘り下げるべく、特別に「中島待乳写真台帳」より宮内幸太郎撮影の「三陸津波写真」を展示する。特別パネルディスカッション(次頁左下)では、写真を通して浮彫される明治を、記録とその技術の側面から再考し、新たな写真史への視点を創出したいと考えている。

1) 中島待乳写真台帳 明治中期 鶏卵紙アルバム 石黒敬章蔵  
2) 《(大沼新道より駒ヶ岳を望む)》ライント・フォン・スティルフリートカ 明治初年 鶏卵紙 日本大学芸術学部  
表紙)《土方歳三像》田本研造カ 明治2年頃撮影 後年のプリント  
セラチン・シルバー・プリント 函館市立中央図書館蔵 \*表紙は部分

3F

3階展示室 Exhibition Gallery

友の会無料 三越カード割引 アトレビュー・Suicaカード割引

3月5日(火) → 5月6日(月祝)

## 夜明けまえ

知られざる日本写真開拓史 北海道・東北編

Dawn in Japanese Photography [Hokkaido district & Tohoku district]

□ 一般 500(400)円 □ 学生 400(320)円 □ 中高生・65歳以上 250(200)円

( )は20名以上の団体、当館の映画鑑賞券ご提示者、上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

□ 主催：東京都 東京都写真美術館 / 読売新聞東京本社 / 美術館連絡協議会 □ 協力：日本大学芸術学部  
□ 協賛：ライオン / 清水建設 / 大日本印刷 / 損保ジャパン / 日本テレビ放送網 ほかに

2007年3月から始まった「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史」。関東編、中部・近畿・中国地方編、四国・九州・沖縄編に引き続き、第四弾として「北海道・東北編」を開催します。江戸時代末期の日本において「写真」は、西洋技術の象徴でした。横浜や長崎などが開港し、訪日する写真師との関わりから、江戸の鶏飼玉川や開港地の上野彦馬・下岡運杖など、日本人の写真師が各地に現れます。そして、西洋的近代化へ向かう社会情勢とともに、その技術はさらに次の世代へと伝承されていきました。本展では、学芸員の地道な調査

で明らかになった、現存する貴重なオリジナルの写真作品・資料を、〈であい〉〈まなび〉〈ひろがり〉三部構成で展示します。写されたイメージだけでなく、台紙や写真帳に記されている商標、錦絵・石版画など、北海道・東北の初期写真と時代を直截に感じられる作品・資料をお楽しみください。なお、本シリーズは今後も写真の伝搬と普及についての調査・研究を継続し、本展を含むこれまでの調査の集大成として2016年に「総集編」を開催する予定です。

※ デジタルデータでプリントする鶏卵紙制作ワークショップ  
日程：2013年4月20日(土)、4月21日(日)各10:00~17:00  
※詳細はホームページをご確認ください

※ 担当学芸員によるフロアレクチャー 第1・3金曜日 16:00~  
※本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、会場入口にお集まりください。  
2013年4月28日(日)・29日(月・祝)、5月3日(金・祝)~6日(月・祝)16:00~は  
ゴールデンウィーク特別フロアレクチャーを開催します。

※ 特別パネルディスカッション  
「明治期天災記録写真と写真技術」

出演：石黒敬章(ゆうもあくらぶ事務局長、日本写真芸術学会評議員)  
高橋則英(日本大学芸術学部写真学科教授)  
日程：2013年4月6日(土) 18:30~20:00  
※詳細はホームページをご確認ください

3F

3階展示室 Exhibition Gallery

友の会無料 三越カード割引 アトレビュー-Suicaカード割引

11月24日(土) → 2013年1月27日(日)  
1月2日・3日は年始特別開館イベント詳細はホームページまで

## 北井一夫 いつか見た風景

Kitai Kazuo: Somehow Familiar Places

□ 一般 600(480)円 □ 学生 500(400)円 □ 中高生・65歳以上 400(320)円

( )は20名以上の団体、当館の映画鑑賞券ご提示者、上記カード会員割引料金 ※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料 ※2013年1月2日は入場無料

□ 主催:東京都 東京都写真美術館/朝日新聞社 □ 協力:ギャラリー冬青

日本を代表する写真家・北井一夫の回顧展。ルポルタージュ性の強い初期の『バリケード』、『三里塚』から、失われていく日本の農村の原風景を捉えた代表作『いつか見た風景』、『村へ』、新興住宅地で暮らす市民の生活を軽やかに切り取った『フナバシストーリー』まで、作風を変化させながらも常に時代と向き合う北井の視点を追います。

## ✕ 作家とゲストによる対談

①北井一夫×金子隆一(当館専門調査員) 2012年12月15日(土) 14:00-15:30  
②北井一夫×田中長徳(写真家) 2013年1月12日(土) 14:00-15:30  
会場:1階アトリエ(定員70名)  
※展覧会チケットの半券をお持ちの方は、どなたでもご参加いただけます。  
※当日10時より1階受付にて整理券を配布します。番号順入場 自由席

## ✕ 担当学芸員によるフロアレクチャー

第2・4金曜日 16:00~  
※本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、会場入口にお集まりください。

## ✕ 新春特別フロアレクチャー

2013年1月3日(木) 11:30~12:15  
展示解説:北井一夫(出品作家)、藤村里美(当館学芸員)  
※本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、会場入口にお集まりください。

「フナバシストーリー」  
1983-1987年 より

B1F

地下1階展示室 Exhibition Gallery

友の会無料 三越カード割引 アトレビュー-Suicaカード割引

12月11日(火) → 2013年1月27日(日)  
1月2日・3日は年始特別開館イベント詳細はホームページまで

## 映像をめぐる冒険 vol.5 記録は可能か。

Spelling Dystopia

□ 一般 500(400)円 □ 学生 400(320)円 □ 中高生・65歳以上 250(200)円

( )は20名以上の団体、当館の映画鑑賞券ご提示者、上記カード会員割引料金 ※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料 ※2013年1月2日は入場無料

□ 主催:東京都 東京都写真美術館/産経新聞社 □ 協賛:凸版印刷株式会社 □ 協力:NECディスプレイソリューションズ株式会社/ゲート・インスティテュート・ヴィラ鴨川/早大演劇演劇映像学連携研究拠点平成24年度公募研究『「映画以後」の幻史に関する基礎的研究』/神戸映画資料館/映画美学校/調布市立図書館 □ 後援:ドイツ文化センター/サンケイスポーツ/タ刊フジ/フジサンケイビジネスアイ/iza!/SANKEI EXPRESS

金坂健二《無題》1960-69年/  
東京都写真美術館蔵

リュミエール兄弟の世界初の実写映画《工場の出口》(1895年公開)から100年以上を経た今日、ドキュメンタリーは、テレビやインターネットを通じて、みること、自分自身で発信することが身近な時代になりました。本展では、記録映像の変遷と可能性を、映像と社会を結びいくつかの事例から検証し、その今日的な役割を考察します。

## ✕ 連続トークイベント

◎2012年12月11日(火) 18:00~19:30  
ニナ・フィッシャー&マロアン・エル・ザニ(出品作家)  
◎2012年12月22日(土) 15:00~16:30  
ゼロ次元・加藤好弘(美術家)、  
黒ダイヤ児(戦後日本前衛美術史研究者)  
◎2013年1月19日(土) 15:00~16:30  
宮井陸郎(出品作家)、平沢剛(映画研究者)  
※詳細はホームページをご確認ください。

## ✕ 担当学芸員によるフロアレクチャー

第2・4金曜日 14:00~ および2013年1月2日・3日 14:00~  
※本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、会場入口にお集まりください。

2F

2階展示室 Exhibition Gallery

友の会割引 三越カード割引 アトレビュー-Suicaカード割引

12月8日(土) → 2013年1月27日(日)  
1月2日・3日は年始特別開館イベント詳細はホームページまで日本の新進作家 vol.11  
この世界とわたしのどこか

somewhere between me and this world - Japanese contemporary photography

□ 一般 700(560)円 □ 学生 600(480)円 □ 中高生・65歳以上 500(400)円

( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員、当館の映画鑑賞券ご提示者、上記カード会員割引料金 ※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料 ※2013年1月2日は入場無料

□ 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館/東京新聞 □ 協賛:株式会社ニコン/株式会社ニコンイメージングジャパン/富士フイルムイメージングシステムズ株式会社/凸版印刷株式会社/東京都写真美術館支援委員会 □ 協力:フォトグラフアーツ・ラボラトリー/フォト・ギャラリー・インターナショナル/株式会社カシマ

当館は、写真・映像の可能性に挑戦する創造的精神の支援をめざして、将来性のある作家を発掘し、新しい創造活動の場を提供するための様々な事業を展開しています。その中核となるのが、毎年異なるテーマを決めて開催している「日本の新進作家」です。大震災や経済の低迷などにより、社会環境が不安定化する現在、様々な問題が山積し、既存の価値観が大きく変化しています。そうしたなかで、日本の現代作家たちは、それぞれが自分の足下を見つめながら自らの課題と格闘し、独自の世界を創造しています。第11回目となる本展は、個人と社会の関わりを考えながら表現を模索する、今もっとも勢いのある新進作家5人を取り上げて、日本の「今」を浮かび上がらせようとする試みです。

## ➤ 出品作家

菊地智子、田口和奈、笹岡啓子、大塚千野、蔵真墨



菊地智子《鏡の中のグイメイ、重慶》2011年

## ✕ 作家とゲストによる連続対談

1月12日(土) 笹岡啓子×豊島重之(精神科医・モレキュラーシアター芸術監督)×高橋しげみ(青森県立美術館学芸員)

1月13日(日) 蔵真墨×丹野章(写真家)  
1月20日(日) 田口和奈×岩永忠すけ(画家)  
時間:15:30~17:00 定員:各回50名 会場:東京都写真美術館2階ラウンジ  
※展覧会チケットの半券をお持ちの方は、どなたでもご参加いただけます。  
※当日10時より1階受付にて整理券を配布します。

## ✕ 新春特別フロアレクチャー

2013年1月4日(金) 14:00~  
本展の出品アーティストによる展示解説を行います。  
解説:田口和奈、笹岡啓子、蔵真墨(以上 出品作家)、笠原美智子(当館担当学芸員)  
※展覧会チケットの半券(当日有効)をお持ちの方は、どなたでもご参加いただけます。

## ✕ 担当学芸員によるフロアレクチャー

第1・3金曜日 14:00~  
※展覧会チケットの半券(当日有効)をお持ちの方は、どなたでもご参加いただけます。

## ✕ 10時間討論会「世界はこうなったが、写真はこうある。」

2013年1月11日(金) 10:30~20:30  
パネリスト:飯沢耕太郎、楠本亜紀、沢山遼、清水稔、土屋誠一、長谷川明、笠原美智子  
企画・司会:遠藤水城  
定員:70名 会場:東京都写真美術館1階アトリエ  
※展覧会チケットの半券をお持ちの方は、どなたでもご参加いただけます。  
※当日10時より1階受付にて整理券を配布します。



大塚千野《1982 and 2005, Paris, France》2005年



P7『ヴォーグ』アメリカ版1949年11月1日号のためのヴァリエーション  
 P8左から『ヴォーグ』アメリカ版1953年3月15日号のためのヴァリエーション、『ヴォーグ』アメリカ版1945年3月15日号表紙、『ヴォーグ』アメリカ版1953年5月1日号表紙のためのヴァリエーション 図版はすべて©The Estate of Erwin Blumenfeld

"Erwin Blumenfeld" is organized by Tokyo Metropolitan Museum of Photography in special collaboration with Nadia Blumenfeld-Charbit, The Blumenfeld Family and the persons concerned.



# ERWIN BLUMENFELD

## アーウィン・ブルーメンフェルド 美の秘密

2階展示室

2013.3.5(火) - 5.6(月・祝)

『ハーバース・バザー』や『ヴォーグ』等のファッション誌を中心に、第一次、第二次世界大戦を挟んで活躍した、アーウィン・ブルーメンフェルド(1897-1969年、独→米)の国内初の個展を開催します。欧米ではファッション・ポートレート全盛期の旗手としてポンピドゥー美術館(パリ、1981年)、パービカンセンター(ロンドン、1996年)の個展などで高い評価を得ているブルーメンフェルドですが、重要な作品が各国の美術館に散在していることから、これまで日本国内で全貌をご紹介します機会がありませんでした。今回、ブルーメンフェルドのご遺族、関係者によって、1930年代のヴィンテージ・プリントや作家自身が選出した名作100点、カラー復元された美しいファッション写真などが

集められました。本展覧会はパリのジュ・ドゥ・ポーム美術館に先んじて、それらの資料から独自の視点で構成した約200点の作品群をご紹介します貴重な機会です。シュルレアリスムからヌード、ファッションまで網羅し、多くの写真家に影響を与えたブルーメンフェルドの表現ですが、その陰には二大戦に翻弄され、時代に応じて活動の場を選択せざるを得なかった作家の苦悩が存在します。作家の活動を通し、時代背景、思想などに視点を向けると、美しい表現の根底にある精神が見えてくるのです。華やかな作品に隠された美の秘密をぜひ探してみてください。

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレビュー-Suicaカード割引

一般 800(640)円 / 学生 700(560)円 / 中高生・65歳以上 600(480)円

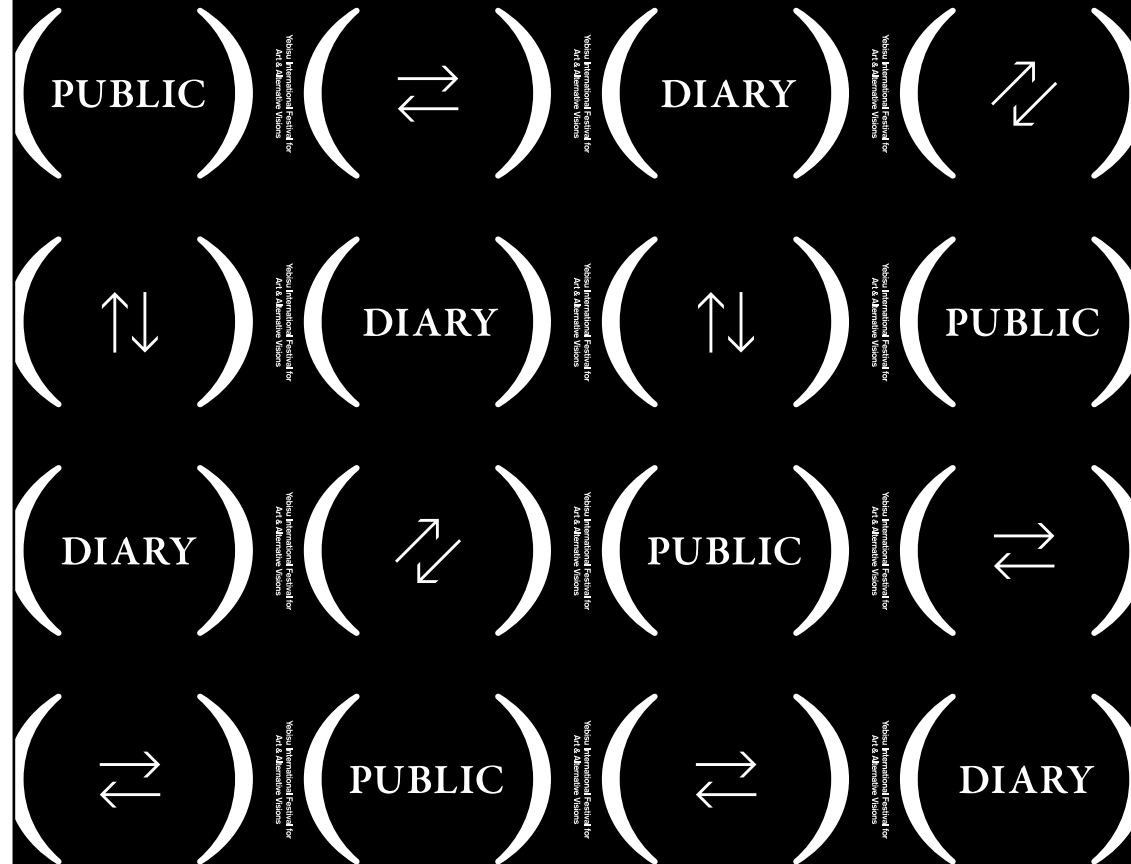
( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員、当館の映画鑑賞券ご提示者、上記カード会員割引料金  
 ※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料  
 ※第3水曜日は65歳以上無料

□主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 / 朝日新聞社 □協賛:株式会社資生堂 / 凸版印刷株式会社 / 東京都写真美術館支援会員 □協力:セレクションD.P.I.

✦担当学芸員によるフロアレクチャー 第2・4金曜日 14:00~  
 ※本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、会場入口にお集まりください。

✦展覧会関連イベント  
 ※詳細につきましては決定次第ホームページでお知らせします。

Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions



第5回恵比寿映像祭 PUBLIC ⇔ DIARY パブリック ⇔ ダイアリー

2.8 fri - 2.24 sun / 2013 15 days

平成25年2月8日(金)~2月24日(日)《15日間※2月12日(火)、18日(月)は休館》

東京都写真美術館全フロア/恵比寿ガーデンプレイス センター広場/ザ・ガーデンルームほか

10:00~20:00 (ただし最終日は18:00まで) 入場/無料 ※上映、ライブ、レクチャーなど定員制のものは一部有料

[主催]東京都/東京都写真美術館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)/日本経済新聞社 [共催]サッポロ不動産開発株式会社[後援]J-WAVE 81.3FM [協賛]東京都写真美術館支援会員 [協力] NECディスプレイソリューションズ株式会社/東芝ライテック株式会社/東芝エルティエン지니어リング株式会社/びあ株式会社/株式会社北山創造研究所/株式会社トリプルセブンインタラクティブ/株式会社ロボット

東京都写真美術館  
www.yebizo.com

第5回恵比寿映像祭

恵比寿映像祭は、年に一度15日間にわたり、展示、上映、ライブ・パフォーマンス、トーク・イベント等を複合的に行う映像とアートとの国際フェスティバルです。毎回ひとつのテーマを出発点に、国内外から集う多彩な作品やプログラムを楽しみながら「映像とは何か?」を問うてきました。第5回の総合テーマは「パブリック⇔ダイアリー」。メディア技術や情報システムの変転によって、「公」と「私」の境界がせめぎ合う現代における、表現や映像メディアの可能性と課題を考えます。なぜ人は「日記」を記し著すのか、そして、いかに残された「日記」を読み解くことができるのか、それは、表現することとそれを受け取るということアートの根幹にかかわる問いでもあります。

展示

Exhibition

東京都写真美術館 3階、2階、地下1階(入場無料)

[出品予定作家]: 荒木経惟(日本)/クリストファー・ベイカー(アメリカ)/ジェレミー・デラー(イギリス)/クリスチャン・ヤンコフスキー(ドイツ)/シェイラ・カメリッチ(ボスニア・ヘルツェゴヴィナ)/川口隆夫(日本)/木村太陽(日本)/宮永亮(日本)/野口久美子+平川紀道+森浩一郎(日本)/野口靖(日本)/ザ・プロベラ・グループ(ベトナム/アメリカ)/ワリッド・ラード(レバノン)/ベン・リヴァース(イギリス)/ヒト・スタヤル(ドイツ)/マンゴ・トムスン(アメリカ)ほか



上映

Screening

東京都写真美術館 1F上映ホール(定員190名・有料チケット制)

[出品予定作家]: ジェ・シャントル(フランス)/アレクセイ・フェドロチェンコ(ロシア)/福崎星良[日本]/バドロ・ゴンザレス・ルビオ(メキシコ)/シェイラ・カメリッチ(ボスニア・ヘルツェゴヴィナ)/小森はるか(日本)/ハーモニー・コリン(アメリカ)/ヤン・キヴェチンスキ(ポーランド)/水江未来(日本)/大江崇允(日本)/ベン・リヴァース(イギリス)/ヒト・スタヤル(ドイツ)/吉畑綾(日本)/ミシェル・K. ゾンゴ(ブルキナファソ)ほか [ゲスト・プログラマー]: ジェイ・サンダース(アメリカ)/マーヤン・シェレフ(イスラエル)/土居伸彰(日本) [リンク先組織]: ハノイ・ドック・ラボ(ベトナム)/CO2 シネアスト・オーガニゼーション大阪(日本)

オフサイト展示

Off-site Project

恵比寿ガーデンプレイス センター広場(無料)

[出品予定作家] 鈴木康広(日本)

イベント

Event

シンポジウム	東京都写真美術館 1階上映ホール(定員190名・有料チケット制)
ラウンジトーク	東京都写真美術館 2階ラウンジ(無料)
レクチャー	東京都写真美術館 1階アトリエ(定員70名・有料チケット制)
ライブ	ザ・ガーデンルーム(定員200名・有料チケット制)
地域連携プログラム	恵比寿地域文化施設及びギャラリーなど

1. ジェレミー・デラー《エクソダス》2012年 2. 川口隆夫《a perfect life 川口隆夫ダンス・パフォーマンス in Okinawa》2011年より、撮影:角張康治[参考図版] 3. ハーモニー・コリン、アレクセイ・フェドロチェンコ、ヤン・キヴェチンスキ《フォース・ディメンション》2012年 4. シェイラ・カメリッチ《赤のない1395日》2011年 5. 鈴木康広 オフサイト展示に向けた新作のイメージ・スケッチ 2012年



東京文化発信プロジェクトとは

東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。都内各地での文化創造拠点の形成や子供・青少年への創造体験の機会の提供により、多くの人々が新たな文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、国際フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。 <http://www.bh-project.jp>

BIF

地下1階展示室 Exhibition Gallery

友の会割引 三越カード割引 アトレビューSuicaカード割引

3月23日(土) → 5月12日(日)

## マリオ・ジャコメッリ 写真展

THE BLACK IS WAITING FOR THE WHITE

□ 一般 1,000(800)円 □ 学生 800(640)円 □ 中高生・65歳以上 600(480)円

( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員、当館の映画鑑賞券ご提示者、上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

□ 主催:青幻舎/NADiff/PARCO □ 共催:東京都写真美術館 □ 後援:イタリア大使館/イタリア文化会館



左)「神学生たち」より © Eredi Mario Giacomelli  
右)「自然についての認識」より © Archivio Mario Giacomelli, Senigallia

### ❖ 展覧会関連イベント

※詳細につきましては決定次第ホームページでお知らせします。

◎お問い合わせ ☎ パルコ 03-3477-8820

3F

3階展示室 Exhibition Gallery

友の会無料 三越カード割引 アトレビューSuicaカード割引

5月11日(土) → 7月7日(日)

## 平成25年度 東京都写真美術館コレクション展「写真のエステティクス」(仮称)

□ 一般 500(400)円 □ 学生 400(320)円 □ 中高生・65歳以上 250(200)円

( )は20名以上の団体、当館の映画鑑賞券ご提示者、上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

□ 主催:東京都 東京都写真美術館



鈴鹿芳康 #672 備瀬(沖縄)  
「Rises and Falls on the Horizon」より  
1993年

当館では毎年テーマを設け、3期にわたって選りすぐられたコレクションをご紹介します。その1期目が2013年5月から始まります。「エステ」といえば「美容」を思い浮かべますが、本来、「エステ」という言葉は「aesthetics(エステティクス)」の略語で、「美学」を意味します。本展では、美術館とは美的価値を探求し提示する場であるという本質に立ち返り、「写真の美しさはどこにある?」をテーマに、写真のエステティクスについて考えます。「光」「反映」「表層」「喪失感

というキーワードを手がかりとして、19世紀の初期写真から現代写真まで、当館のコレクション作品をたどりながら、「美」をめぐる数々の表現に目を向け、そのたたくまいや趣きを味わって下さい。きっと今までと異なる写真作品の感じ方が開かれてくることでしょう。

### ❖ 担当学芸員によるフロアレクチャー

第2・4金曜日 16:00~  
※本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、会場入口にお集まりください。

### ❖ 展覧会関連イベント

※詳細につきましては決定次第ホームページでお知らせします。

2F

2階展示室 Exhibition Gallery

友の会無料 三越カード割引 アトレビューSuicaカード割引

5月11日(土) → 7月15日(日)祝

## 日本写真の1968 (仮称)

□ 一般 600(480)円 □ 学生 500(400)円 □ 中高生・65歳以上 400(320)円

( )は20名以上の団体、当館の映画鑑賞券ご提示者、上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

□ 主催:東京都 東京都写真美術館

戦争、革命、暗殺など、1960年代後半は、世界中のあらゆる領域でこれまでの枠組みに対して新たな行動が勃発した時代でした。写真においても、特に1968年は、「写真100年展」「ジョージ・イーストマン・ハウス・コレクション展」「カメラ毎日」での「コンボラ写真」の特集、「PROVOKE」の創刊など、今日の「写真」の社会的な枠組みを考える上で重要な出来事が集中

して現れました。本展では、「1968年」を中心にして、1965~75年の間で、日本で「写真」という枠組みがどのように変容し、世界を変容させていったかをたどり、「写真とは何か?」をさぐります。

### ❖ 担当学芸員によるフロアレクチャー

第1・3金曜日 16:00~  
※本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、会場入口にお集まりください。

### ❖ 展覧会関連イベント

※詳細につきましては決定次第ホームページでお知らせします。



武林盛一「幌内駅」c.1871-1880  
「写真100年展」で注目された武林盛一の北海道開拓写真

Film 『魅惑のバレエ映画祭』

名作バレエを映画化した珠玉の作品を特集上映!

日本を代表するプリマ最後のクラシック・バレエ公演を映像化した周防正行監督の『草刈民代 最後の“ジゼル”』を劇場初公開。これに併せ、キョロフ・バレエ『眠れる森の美女』、ポリショイ・バレエ『アンナ・カレーニナ』、20世紀最高のダンサーの記録『ヌレエフ AM A DANCER』のほか、『白鳥の湖』など珠玉のバレエ映画全5作品を特集上映!



© Photo by Hidemi Seto

楽会事務局 03-3498-2508
上映スケジュール: 2012年12月8日(土)~28日(全)
料金: [当日券]一律2,800円/1作品

Film 『父をめぐる旅 異才の日本画家・中村正義の生涯』

自由で革新的な問題作を生み、画壇に新風を吹き込んだ異端児・中村正義の足跡を娘が辿る。

早世の天才日本画家、速水御舟の再来とも言われながら、画壇の権威主義的体質に異を唱え、蛍光塗料やポップアートと見紛う技巧で新しい時代の日本画の創造を目指し、52歳という若さで逝去した中村正義。そんな父・正義を敬愛し、美術館を守り続けてきた娘が、自分の未だ知らない本当の父の姿を探して旅をする珠玉のドキュメンタリー。



© 2012「父をめぐる旅」製作委員会

太秦 03-5367-6073
上映スケジュール: 2013年1月5日(土)~
料金: [当日券] 一般1,800円 その他、未定

1F ミュージアムショップ『ナディッフ バイテン』

【営業時間】
ナディッフ バイテン/10:00-18:00(木・金は20:00、土は18:30)
お問い合わせ Tel.03-3280-3279
CAFÉ BIS/11:00-18:00(ラストオーダー17:30)
お問い合わせ Tel.03-6721-7474

北井一夫の初期代表作の一つ「バリケード」が、初めて写真集として纏められました。



Harper's book(NY)刊 7,875円(税込)

当店で有機栽培のコーヒー豆を使っています。テイクアウトもできます。



ホットコーヒー 300円(税込)
カフェラテ 360円(税込)
カプチーノ 360円(税込)

友の会 Support
展示会のご招待・割引、1階ホールの上映映画や関連施設の割引など特典を多数ご用意して、皆様のご入会をお待ちしております。

年会費
個人会員 2,000円
家族会員(同伴者1名まで) 3,000円
シルバー会員(65歳以上の方) 1,000円

※受付は当館1階チケットカウンター横の「友の会カウンター」のみとなっております。
※会員証の有効期限は、入会から1年間(翌年同月末日まで)
※詳細は当美術館までお問い合わせください。 Tel.03-3280-0099(開館時間中)

Table with columns: 友の会特典, 特典内容, 収蔵展・映像展, 無料, 企画展・誘致展, 割引, ミュージアムショップ, 5%引き, その他

支援会員 Corporate Members

東京都写真美術館の活動をご支援いただくため、次の企業・団体に支援会員としてご入会いただきました。

- List of corporate members including: キヤノン(株), 資生堂(株), ニコン(株), キタムラ(株), キヤノンマーケティングジャパン(株), 大日本印刷(株), 凸版印刷(株), 富士フイルム(株), リコー(株), I&S BBDO(株), AOI Pro.(株), アサツー ディ・ケイ(株), 旭化成(株), 朝日新聞社(株), 朝日新聞出版(株), 朝日生命保険(株), アサヒグループホールディングス(株), 朝日放送(株), アスкул(株), アートよみうり(株), アマナホールディングス(株), 岩波書店(株), 潮出版(株), 内田写真(株), 栄光社(株), ADKアーツ(株), NECディスプレイソリューションズ(株), NHKアート(株), NHK営業サービス(株), NHKエデュケーション(株), NHKエンタープライズ(株), NHKグローバルメディアサービス(株), NHK出版(株), NHKビジネスクリエイティブ(株), NHKプロモーション(株), NHKメディアテクノロジー(株), NTTデータ(株), NTTドコモ(株), NTT都市開発(株), エプソン販売(株), エルメス財団(株), オリックス(株), オリオンパシフィック(株), オンワードホールディングス(株), 科研製薬(株), カンオ計算機(株), 鹿島建設(株), 角川グループホールディングス(株), カトーレック(株), 神奈川新聞社(株), カルピス(株), キウチ科学研究所(株), キッコマン(株), 紀伊國屋書店(株), ギャラリー小柳(株), キューンコミュニケーションズ(株), 共同印刷(株), 一般社団法人共同通信社(株), 協和発酵キリン(株), 興亜硝子(株), 弘亜社(株), 廣済堂(株), 講談社(株), 光文社(株), 国書刊行会(株), コスモインターナショナル(株), コーセー(株), コダック(株), 小山登美夫ギャラリー(株), ザ・アール(株), サッポロホールディングス(株), 三機工業(株), 産経新聞社(株), サントリーホールディングス(株), サンライズ(株), サンローズ(株), ジェイアール東日本企画(株), JSR(株), JXホールディングス(株), ジェイティビー印刷(株), シグマ(株), 実業之日本社(株), 信濃毎日新聞社(株), 清水建設(株), 写真弘社(株), 写真の学校/東京写真学園(株), シャネル(株), 集英社(株), 主婦と生活社(株), 主婦の友社(株), 小学館(株), 松竹(株), 信越化学工業(株), 新潮社(株), スタジオアリス(株), スタジオエムジー(株), スタジオジブリ(株), 住友化学(株), 住友生命保険(株), スリーポンド(株), 生活の友社(株), セイコーホールディングス(株), 青春出版社(株), 積水ハウス(株), 全日本空輸(株), ソニー(株), 第一生命保険(株), 第一法規(株), タイキ(株), ダイキン工業(株), ダイケングループ(株), 大成建設(株), (有)タカ・インシギャラリー(株), 高砂熱学工業(株), 高島屋(株), 宝島社(株), 竹中工務店(株), 玉川大学芸術学部(株), タムロン(株), 丹青社(株), 中央公論新社(株), 中外製薬(株), ツァイト・フォト(株), 帝人(株), ティー・ビー・オー(株), TBSテレビ(株), テー・オー・ダブリュー デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株), テレビ朝日(株), テレビ東京(株), 電源開発(株), 電通(株), 電通テック(株), 東亜建設工業(株), 東急建設(株), 東京海上日動火災保険(株), 東京ガス(株), 東京急行電鉄(株), 東京工芸大学(株), 東京新聞・中日新聞社(株), 東京スタデオ(株), 東京造形大学(株), 東京総合写真専門学校(株), 東京テアトル(株), 東京都競馬(株), 東京ドーム(株), 東京ニュース通信社(株), 東京芸術倶楽部(株), 専門学校 東京ビジュアルアーツ(株), 東京メトロポリタンテレビジョン(株), 東芝(株), 東宝(株), 東北新社(株), 東京経済新報社(株), 東洋熱工業(株), トキワ(株), 徳間書店(株), 戸田建設(株), トータルプランニングオフィス(株), トヨタ自動車(株), トロンマネージメント(株), ニコンイメージングジャパン(株), 日外アソシエーツ(株), 日油(株), 日活(株), 日経BP(株), 日産自動車(株), 日本カメラ社(株), 日本空港ビルデング(株), 日本経済新聞社(株), 日本興亜損害保険(株), 日本広告社(株), 公益社団法人日本広告写真家協会(株), 日本コルマー(株), 日本色材工業研究所(株), 日本写真印刷(株), 公益社団法人日本写真家協会(株), 公益社団法人日本写真協会(株), 日本写真芸術専門学校(株), 一般社団法人日本写真作家協会(株), 一般社団法人日本写真文化協会(株), 日本大学芸術学部(株), 日本たばこ産業(株), 日本ビュレット・バックカード(株), ニッポン放送(株), 日本ロレックス(株), ニューアートディフュージョン(株), ノーリツ鋼機(株), 博報堂(株), 博報堂DYメディアパートナーズ(株), バス・コミュニケーションズ(株), ハースト婦人画報社(株), バナソニック(株), バラゴン(株), バリミキ(株), びあ(株), ビービーメディア(株), 北海道 写真の町東川町(株), 東日本旅客鉄道(株), 光写真印刷(株), 美術出版社(株), 日立製作所(株), 日立物流(株), ビックカメラ(株), ビデオプロモーション(株), ヒノキ新薬(株), ビラミッドフィルム(株), ファーストリテイリング(株), 富国生命保険(株), 富士ゼロックス(株), フジテレビジョン(株), 富士電機(株), 双葉社(株), ブラザークリエイト(株), プリヂストン(株), プリンホテル(株), フレームマン(株), 文化工房(株), 文藝春秋(株), ベネッセホールディングス(株), 日本カメラ社(株), ベンタックスクリエイティング(株), 北海道新聞社(株), ホテルオークラ東京(株), 堀内カラー(株), 本田技研工業(株), 毎日新聞社(株), マガジンハウス(株), ミヤ・デジタル・イメージング(株), 丸善(株), マンダム(株), 三井倉庫(株), 三井不動産(株), 三菱地所(株), 三菱製紙(株), 三菱倉庫(株), 三菱電機(株), 三菱UFJ信託銀行(株), 武蔵大学(株), ニューアートディフュージョン(株), 森ビル(株), モルガン・スタンレーMUFJ証券(株), ヤマトロジスティクス(株), ユサコ(株), USACO CORPORATION(株), ユニバー・ジャパン(株), 横河電機(株), 吉野工業所(株), ヨドバシカメラ(株), 読売新聞社(株), ライオン(株), ライカカメラジャパン(株), リンモンジャパン(株), モンブラン(株), ロボット(株), ワコウ・ワークス・オブ・アート(株), ワコール(株), ワッツ オプトキーオー(株)

(株)=株式会社、(相)=相互会社、(有)=有限会社、(学)=学校法人

(平成24年11月現在・五十音順)